

会 議 録

会議の名称		第3次つくば市観光基本計画策定委員会 第1回会議			
開催日時		令和3年(2021年)2月26日 開会 13:30 閉会 15:30			
開催場所		市役所2階職員研修室			
事務局(担当課)		経済部観光推進課			
出席者	委員	岡本直久、生田目美紀、松本圭司、遠田勇人、武藤成一、東英俊、澁谷賢一、米本高廣、布浦万代、吉原一行、松信利彦、星野弘、浅井知枝、河内洋行、橘敦子、田中依子、松本茂			
	その他	毛塚副市長			
	事務局	野澤経済部長、片野経済部次長、兼平観光推進課長、國府田観光振興係長、鳥飼主任、笹山主任			
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人	
非公開の場合はその理由					
議題		(1)第2次つくば市観光基本計画の検証 (2)策定に向けた意見交換 (3)委員会開催スケジュール (4)アンケート調査 (5)その他			
会議録署名人			確定年月日	令和3年4月20日	
会議次第	1	開会			
	2	挨拶			
	3	委員紹介			
	4	事務局紹介			
	5	委員長選任			
	6	委員長挨拶			
	7	議事			
	8	閉会			

＜審議内容＞	
(1)第2次つくば市観光基本計画の検証について	
委員長：	(1)第2次つくば市観光基本計画の検証について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局：	第2次つくば市観光基本計画の検証について、お話しいたします。 別紙議事資料1から参ります。データによる検証になりますが、つくば市の観光客総入込数、筑波山観光客総入込数、ともに基本計画を策定した平成28年から令和元年まで、順調に伸びてきています。ただこちらのデータですが、四半期ごとに県で指定した日を調査して、係数をかけて

出している数字になっています。あくまで実数ではなく、目安となっていますので、ご留意願います。

筑波山きっぷ、筑波山シャトルバス、筑波山駐車場の利用台数ですが、こちらは実数で記しています。この中で若干数値が下がっている部分があります。平成 30 年度については真夏の猛暑や台風、平成 31 年度についても夏場の天候不良、秋の行楽シーズンの天候不良のため、若干下がっているものと推測されます。サイエンスツアーの受入人数も若干減っています。こちらの理由も夏場の天候不良、また茨城空港での直通便が廃止になり、団体客の受入数が減ったことも要因の一つと考えています。ただサイエンスツアーバスの利用については令和元年まで動いている状態となっています。令和 2 年については新型コロナウイルスの影響を受け、マイナスとなっています。ただ令和 2 年の観光客の総入込数、前年比約 36%減となっていますが、筑波山の観光客入込数は前年比約 23%減となっています。このことから筑波山観光においては、コロナの中でも影響が少なかったのではと考えています。また、令和 2 年の筑波山市営駐車場の利用数も前年比 17%減となっており、筑波山シャトルの利用者数、前年比 33%減と比較して影響が少なかったものと考えています。

続きまして、別紙議事資料 2、こちらは前期観光基本計画のロードマップで重点的政策事業で、予定と実施した部分を記載しています。

続きまして、観光入込客数の目標と実績ですが、中間検証（2019 年）した時に、当初の目標計画、令和 3 年 400 万人という数値を平成 30 年の段階で 420 万人と当初の目標を超えたため、最終目標を 430 万人へ上方修正しました。ただ令和 2 年に関してはコロナの影響で数値が下がっております。

第 3 次観光基本計画については、コロナ禍の政策で考慮するとともに新型コロナウイルス感染症の終息後を見据えた政策をしていきたいと考えています。

委員長：ありがとうございました。

（２）策定に向けた意見交換

委員長：（２）策定に向けた意見交換ということで、お 1 人 3 分程度で、名簿順にご意見をいただきたいと思います。

委員：大変詳細なデータのご提示、ありがとうございます。このデータを拝見して、皆さんの努力のもとで、順調にデータが伸びているようですが、新型コロナウイルス感染症の影響等で下がってしまったことは大変残念なことだと思いました。ただ、冒頭の副市長のごあいさつにもありましたように、逆にこの状況を力にして、今後はいろいろな形で観光を進めていこうということが理解できました。天候等に左右されない知恵を出していくことも大事だと感じました。

委員：昨年から新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか外出できない中で、

つくばには非常に魅力あるものがいっぱい揃っていると思います。私ども観光業の者としては、筑波山が盛り上がらなければ、つくば市内も盛り上がれないと考えております。

細かいデータは事前に見せていただきましたが、今後もしできる要素が多々あるかと思えます。私どもも知恵を絞り、できることをしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

委員：交通に携わっている関係上、それに関する切り口の意見を申し上げます。いろいろな渋滞対策を行っていただいておりますが、最終的な結果を得るに至っていないと感じています。一例として、春と秋の行楽シーズンは、ピーク時にはつくば駅から山まで3時間半、4時間ほどかかるという大変厳しい運行状況です。従って、筑波山に観光で来られ、一度そのような体験をされた方は、二度と来られないと思います。今回の策定会議では、渋滞対策として効率的なアクセス等も含め、全体的なご検討をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

委員：私からも、渋滞対策については引き続きお願いしたいと思います。せっかく関東のいろいろなところから来ていただいた方が、筑波山まで3時間、4時間かかってしまうということだと、リピーターは望めず、大変残念だと思っています。引き続き、皆さんとご一緒に検討していきたいと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、当社でもオンラインを実施しています。緊急事態宣言が続き、PRできませんが、「YAMASTA スタンプラリー」はGPSを使い、密にならないように、個人が自由に自分の時間で楽しんでいただけるようなイベントです。大きなイベントを実施しなくても、そのようなイベントを好調に続けており、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

委員：以前も渋滞対策会議で申し上げましたが、やはり渋滞を経験するとリピーターが少なくなるという、ゲストロスが発生していますので、ご意見にもありましたように、その対策を抜本的に変えていかなければいけないと思います。リピーターに来ていただけないと、交流人口の増加を考えるとなかなか難しいと思います。

私見ですが、もともと茨城県は観光地の魅力ランキングでは全国最下位ということですが、ショートトリップ型の筑波山では、どうしても天候に左右されます。京都のように天候に左右されないものを面で観光できるように、茨城県としても魅力ある観光地を面としてつくっていけるとよいと思います。

新型コロナウイルス感染症が収束すれば、筑波山に来ていただきやすいと思いますが、天候が悪ければ来ていただけません。そのようなことをどのように解決するのかを考えていくことが重要だと思います。

県にも、もう少し県南を見ていただきたいと思います。つくば市さんも県に働きかけをしていただけるとよいと思います。よろしくお願いいたします。

します。

委員：つくばサイエンスツアーをご存知ない方もおられると思いますので、紹介させていただきます。つくば市を観光しながら、サイエンスツアーバスに乗っていただきます。土日祝日に、つくばのバスターミナルから施設を回る巡回バスを運行しています。また、つくばの観光資源が非常に素晴らしいということで、全国から多くの優秀な高校の生徒が来られています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で少ない状況ですが、今後は伸びていくと思います。新型コロナウイルス感染症の感染状況の先が見えない中でも、少しでも支えになればよいと思います。よろしく願いいたします。

委員：まず、事務局にお願いしたいのですが、資料送付が遅く、事前に見ることができませんでしたので、今後は早めに郵送していただくか、もしくはファイル送付する場合も少し早めお願いいたします。委員の皆さんが事前に資料を確認する時間をいただきたいと思います。

昨年度までの数を見ていただくとわかりますが、観光客の数は、つくば市では420万人でした。その半分以上の方が筑波山に来られています。筑波山に来られる方の数が伸びないと、観光客の数は伸びないということです。

土日のシャトルバスの早い時間は大変混雑していて、朝のラッシュアワー並みの混み方です。私どもは、年間140日ほど、つくば市内で観光ガイドをしています。朝の混雑は大変なものです。お客様の筑波山の人気は大きいので、渋滞の解消を一番に願います。

どのように筑波山をPRしていくかを考え、400万ではなく、500万、600万、できれば1,000万人ほどにしたいと考えております。

また、フォレストアドベンチャーの利用者は当初、伸びていましたが、現在は減っています。原因があると思います。サイエンスバスの利用者数も、令和元年度は伸びましたが、今は減少しています。サイエンスバスは外国語ガイドの育成事業を行い、取り組みは進んでいると思いますが、利用者数は伸びていません。今後に期待したいと思います。伸びていない原因の分析もしていただけるとありがたいと思います。

委員：つくば市商工会から参加させていただいています。委員名簿の有識別の欄に「物産品開発による観光誘客」とありますが、商工会としても、3年ほど前から「道の駅検討委員会」を立ち上げております。まだまだ未知ですが、つくば市内は高速道路がクロスしている状態で、特異な地域だと思っています。高速道路の利用者の方々につくば市内に降りてきていただき、地元の物産品を買っていただきたいということで、現在、検討委員会で検討しています。

先ほどから、渋滞対策に関するご意見がありますが、何とか、栃木の「日光いろは坂」のように、一方通行にできないのかというお話を以前お聞きしましたが、まったく進んでいないようです。

今後も、観光と各種産業の連携をより強化していくということで、二重の報告をメインにして進めていきたいと思っています。

委員長：農林研究所等が集まっているところの桜は大変すてきで、あのような資源がいろいろなところに散りばめられていると思いますので、私自身は、そのようなものも活かすことができればよいと思っています。

委員：筑波山の渋滞の話がでていますが、本日、「筑波山梅まつり」が開園しました。来月 21 日までの予定で、多くの方に来ていただいています。先日の、今年一番暖かかった 21 日、そして緊急事態宣言が解除された 23 日、この 2 日間若干の渋滞が発生してしまいました。オープンエアということで筑波山に来られる方はたくさんおられるのですが、筑波山梅林だけにとどまらず、筑波山全体で受け入れられるように、筑波山観光事業所の皆さまにもご協力いただき、いろいろな特典や利点をご準備いただきました。筑波山梅林だけでなく、いろいろな場所に人が広がっていきけるような取り組みを進めているところです。通年を通して、いつでも、どこでも楽しめるようなしくみをつくっていきたいと考えております。筑波山、つくば市への観光入れ込み客数は、令和元年をピークに急激に減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、やむを得ません。筑波山きっぷあるいはシャトルバスの利用者は、その 1 年前の平成 30 年をピークに減少傾向となっています。この要因がわかりません。もし、この分析ができているのであれば、お示しいただきたいと思っています。よろしく願いいたします。

委員長：事務局、いかがですか。

事務局：平成 31 年度は夏休みの利用者が多い期間に、記録的な酷暑であったため、外出を控えるなど、利用者が減少したのではないかと考えています。また、秋の行楽シーズンにおいても、雨が非常に多く、特に土日の休日に雨が重なる日が多くありました。そのような要因があるのではないかと、事務局では考えております。

委員長：委員、お願いいたします。

委員：2019 年 10 月に台風や雨ということで、一番の稼ぎ時の 10 月に、600 以上、「あるきっぷ」の利用が減少しています。土日の天気が悪く、ピーク時に影響を受けているということが、大きな要因だと思います。

委員長：貴重な情報をありがとうございます。委員、よろしいですか。

委員：ありがとうございました。

委員：コロナ禍においても、筑波山観光に影響が少なかったということで、さすが筑波山のネームバリューを感じました。

観光客が伸び悩んでいるということに関しては、「一度行ったから、もう筑波山には行かなくてもいいかな」ということではなく、春の楽しみ、秋の楽しみという具合に、季節ごとにまだ見ぬ、まだ知らぬ筑波山を、観光客に味わっていただきたいと思っています。今の時期ですと、筑波山観光の後に、福来みかんを使った七味唐辛子を、お好みの調合でつくるこ

とができます。そのような楽しみをPRできれば、とてもよいと思います。

委員：このような形でたくさんのデータをいただき、非常に見やすい資料だと感じます。今後、よい対策がたてられるのではないかと考えています。細かい話で恐縮ですが、観光入れ込み客の数は、令和2年が272万、令和元年が424万ということです。これらは実績数だと思いますが、令和2年は対前年比で64%まで落ち込んでいることになります。一方、筑波山の観光客入れ込み数は250万が193万ということで、前年対比は77%です。筑波山の観光客入れ込み数の落ち数は、明らかに少ないということが明らかです。それだけ根強い登山ファンがおられるということです。現在、令和2年までの実績数がでており、令和3年にはどのぐらいの観光客入れ込み数を見込んでいるのかが、大変重要になると思います。着地点を予測しておかなければ、今後の入れ込み数や対前年比の数値目標もたてられないと思います。現在、どのぐらいの数を見積もっておられるのかを知りたいと思います。

委員長：事務局、いかがですか。

事務局：令和2年度の観光客入れ込み数のデータを見ますと、昨年からの緊急事態宣言の発令を受け、非常に大きな影響を受けてきましたが、その後のGo To トラベルなどの経済対策もあり、盛り返しが見られましたが、今後の国や県の経済支援等の政策や感染症の状況も判断しながら、現在もっているデータの推移を踏まえ、今後、お示しできればと考えております。

委員長：ありがとうございます。大変難しいことだと思います。ワクチンの普及が進み、心配なく暮らせる環境がいつ整うのか、そこに、大きなターニングポイントがあると思います。

委員：つくば市の観光を考えたときに、大まかに分けて3点考えなければいけないと、個人的に思っています。1つ目は「一度訪れた方がなかなかリピーターにならないという問題をどのように解決していくか」ということです。2つ目は「内側からの観光客を増やすにはどのようにしたらよいか」ということです。3つ目は「外側からの観光客を増やすにはどのようにしたらよいか」ということです。この3点について、それぞれ考えていくべきだと思います。

まず、内側からの観光客に関しては、駅前が都心から引っ越して来られた方が多く、都心に通えるということで、ベッドタウン的な位置づけで越して来られた方が多いように感じています。私も駅前に住んでいますが、駅前に住んでいる方同士で話をすると、主婦の中には車に乗らないので、つくばの駅前だけで過ごしている方が多いようです。そのような方たちに、休日に観光地を回っていただくことができれば、もともと都心に住んでいた方ですので、都心に友だちも多く、都心への口コミ効果が期待できると思います。「住んでいる方がこんなに楽しそうなら行ってみよう」と思っただけの効果も得られるということです。どのよ

うにアピールしていけるのか検討できると、観光客の増加につながると
思います。このような観光に関しては、コロナ禍であっても、マイクロ
ツーリズム的な意味合いで、比較的安心して観光していただけるかと思
います。

外側からの観光客の増加に関しては、2点、戦わなければいけないとこ
ろがあると思います。1つは他県です。私も以前は東京都で暮らしてお
り、その頃から車やバイクでいろいろな地域を観光していましたが、「週
末にどこに行こうか」と考えたときに「富士山を見に行きたいな」とか
「山梨の温泉に行きたいな」という具合でした。多くの選択肢の中での
一番に選んでいただかなくてははいけません。つくば市内を見ているだけ
ではなく、他県のどのような競合と戦っているのかを認識して、つくば
はどこが優れているのか、どのような面をつくばのよい点として選んで
いただけるのかを考えていくことが重要だと思います。

もう1つは、茨城県内での他地域との戦いです。私には3歳の子どもが
いますが、遊園地が好きなので、休日は日立市の「かみね公園」等に行
くことが多いのです。また、「海が見たい」ということで、大洗に行く
こともあります。年代別に、他の地域とは異なり、「このようなところが
楽しめる」というものを示せるように考えていけるとよいと思います。
このようなことを、今後、ご一緒に考えていければよいと思っています。

委員：コロナ禍で、私自身も旅行が好きですが、「今は行けない」という状況
です。夏に「いばらき応援割」が出ましたので、それを利用させていただ
き、茨城県内のいろいろな場所を訪れましたし、筑波山にも十数年ぶ
りに登りました。

県内の方も、ご自分のまちのことをご存知ないということがあると思
います。まず、住んでいる私たちが、つくば、茨城の魅力を再発見して、
それを発信するということが大事だと思います。

私はたまたま知り合った東京都のご家族と交流をしていますが、つくば
の魅力ということでは、研究機関の春の一般公開に大変関心をもたれて
いて、ほとんど毎年のように来られています。ただ、意外に平日が中心
で、土日が少ないということもありますので、この点でももう少し公開
してもよいのではないかと思います。そのご家族は、いつも研究所を回
った後に、農協に行き、おいしいものをたくさん買い込んで、電車で東
京まで帰るというパターンです。それが魅力だと感じていただけている
のだと思います。

アフターコロナを考えると、渋滞は改めて深刻な問題だと感じます。特
に20歳代30歳代の若い世代の方で、首都圏にお住まいの方は、車に乗
らず、免許ももたない方が増えてきているということですが、高尾山等
に観光に行かれる方が多いということは、やはりそこへのアクセスがよ
いという理由があるとお聞きしました。つくば駅からのアクセスをどの
ようにすれば行きやすくなるのか、また、他の観光地へのアクセスもど

のようにしたらよくしていけるか、考えていければよいと思います。

委員：2点の質問をいたします。よろしくお願いいたします。

1点目です。資料1のスポーツ合宿誘致推進事業年別利用者推移等については、平成27年から平成28年に増加を見ていますが、その後、増減がなくなり、また新型コロナウイルス感染症の影響で減少しています。平成27年からの上昇傾向は、何か対策をとった結果でしょうか。

2点目は、資料の2のスポーツ合宿の誘致推進事業の中で、平成29年度は延べ6,667名、平成30年度は延べ6,791名の利用者だと記述されています。同時に、令和元年は廃校体育館の使用と優先予約を可能とした、令和2年には旧筑波第一小学校の体育館の貸し出しをしたということも記載されていますが、この学生団体は、県内、県外を含め、どのような高校や大学から来ているのでしょうか。また、コンパクトな合宿ということで、古民家の利用等は考えておられませんか。

委員長：事務局、いかがですか。

事務局：スポーツ合宿誘致事業では、春休みや夏休みの長期休暇に、大学生等の学生の利用が一番多く、次いで少年野球等のスポーツ少年団の利用が多いです。平成30年度までは利用が伸びていましたが、令和元年度はコロナの影響により、旧筑波第一小学校も含め予約が全てキャンセルとなっています。令和3年度も今まで使えなかった廃校の体育館の利用を可能とし、引き続きスポーツ合宿誘致を推進していきたいと考えています。古民家の利用については、今後のニーズを見ながら、検討していきたいと思っています。

委員長：ありがとうございます。

委員：途中退出させていただきましたので、重複する部分があれば恐縮です。資料を拝見させていただき感じたところは、MICEに関するところです。つくば市の特長の1つとして、学術会議、つくば国際会議場を中心としたMICEというものがあると思います。近年、学術会議の参加人数は8万人以上で、多いときだと10万人以上ということです。その方たちがどのような消費行動をとられているか、データとしてあるのでしょうか。仮に、10万人の方に何らかのアプローチをすることができれば、お1人1,000円多く、お金を使っただけで、1億円の経済効果が期待できます。仮に1万円のツアーがご提案できれば、10万人で10億円ということです。観光という角度での検討も重要ですが、MICEに対するアプローチも、今後、考えていく必要があると感じました。

委員長：ありがとうございます。

では、お戻りになられた委員、よろしくお願いいたします。

委員：他の会議と重なり、中座させていただき、失礼いたしました。

私は万葉集の研究を始めて、約50年になります。その間、国内で講座等を行いました。ふるさとである筑波山に関係する万葉が25首もありますが、富士山は10数首しかありません。奈良には、そうそうたる三輪山、

畝傍山等がありますが、全国で一番多く詠われている山は筑波山です。そのようなことも含め、小学校、中学校の教科書にも万葉集は下りてきていますので、教育委員と数年前に相談をして、学校での万葉の授業、また「万葉フェスティバル」というものを3日間実施しました。小学校、中学校、高校を合わせて50数校の生徒たちを集め、筑波山または万葉集に関係する歌、俳句、絵、書、作文を美術館に展示して行いました。地元の方が、朝な夕な見ている筑波山ですが、1首の筑波の歌を学ぶこともなく卒業をしていく現状を見て、そのような催しを実施いたしました。もちろん、大人に関しても、意外と筑波山が詠われている深さ、すばらしいものにお気づきになっていないことが、非常に多いと思います。私は万葉講座をあちらこちらで行っておりますので、いろいろな場所から、年に1回、各教室バスツアーを企画し、受講生と万葉集に詠われている筑波山、課外や筑波山の歌碑の前で講座をしております。その中で、鹿行地区や県民大学の講座等もありますが、筑波山がこれほど歌に詠まれていることを初めて知ったと言われる方が多くおられます。

万葉学会のお知り合いの先生で、奈良や太宰府のメンバー等にも、できるだけお声かけして、筑波山に来ていただけるように努めてまいりました。

先ほど、内なる魅力についてのご意見がありましたように、まずはつくば市の方、県内の方に、魅力的な、文学的に価値のあるものを知っていただきたいと思います。どのようにすればよいかは、今後、いろいろとご検討されるとよいと思います。

4年前に、スイスのヨーロッパ国連本部で、万葉の講演をさせていただきました。そのときに、イギリスの方から、「どこにでも日本製の車が走っているが、1300年前の万葉集を学校で教えている国は、おそらく他にはない」と言われました。「新しくて古い、古くて新しい、大変魅力のあるつくば市である」と言われました。その方はイギリスの方ですが、シェイクスピアの文学でさえ、古典で読むことができないのに、日本の子どもたちが万葉集を学んでいるということに驚いておられました。私は国内、国外に向け、筑波山の魅力をもっと示すとよいと思います。ジオパークも、歴史や文化、特に埴輪の時代からの日本書紀にも、筑波山はたくさん詠われていますので、古いものを価値あるものとして、次の時代に受け継いでいくということは、とても大事なことだと思います。どのように構築していけばよいかということですが、市内の方にもっと筑波山の万葉集や日本書紀について、どこで共有することができるのかをお示しすることが大事だと思います。筑波山の周辺にお住まいの方でも、万葉集の歌碑を見に行ったこともない方が結構おられます。内なるアプローチ、外からのアプローチ、いろいろなことができると思います。また、今後、ご提案させていただきたいことを申し上げます。奈良県、

三重県、島根県、和歌山県という古い歴史のある県の知事が東京に集まり、討議をしています。銀座の会議室で行っているのですが、その際に、トップセールスで各地方からの特産物を並べ、相当数の観光雑誌も販売しています。島根県や奈良県に及ぶことはできませんが、北関東の茨城、栃木、群馬はとてもよい万葉集が詠われています。47位という順位かもしれませんが、県文化の発祥をしていったらいかがでしょうか。今後も大変だと思いますが、考えていきたいと思えます。

委員長：ありがとうございます。委員の皆さまから、大変貴重なご意見をいただきました。どのご意見も非常に有益だと思えます。

加えさせていただくと、インバウンドを考えるとすぐわかるのですが、外国人はつくばに来て、つくばだけで飽き足りるはずもなく、いろいろな場所に行きたいということになります。これを、私は「観光の原理・原則」と呼んでいます。遠ければ遠いほど、いろいろなところに行きたがるものです。ヨーロッパの方が日本に来ると、二度と来られないかもしれないと思い、いろいろなところに行こうとするのだと思います。それに対するメニューを用意する必要があります。韓国から来られた人は、「また来られるかもしれない」と考え、つくば市や周辺のまちだけで満足されるかもしれません。

いずれにしても、つくばだけで用意するメニューもあれば、周辺の市町村の資源等も活用しながら、観光を盛り上げて、メニューを用意する必要があると思えます。今回は、つくば市の観光基本計画ですので、そこまで言及できるかどうかは、今後の議論のしかた次第だと思いますが、「土浦と連携すれば、あるいは下妻と連携すれば、このようなメニューが可能である」というような議論もできればよいと思えます。

計画をつくるにあたり、事務的な話かもしれませんが、「まち・ひと・しごと創生推進会議」なるものが、つくば市にもあると思えます。その中でも、交流人口が大事で、観光の入れ込み客数をどこまで増やすのかという目標をたてます。それは他市でも同じです。2年前にお手伝いした、茨城県の土木部が「観光周遊推進アクションプラン」というものをつくりました。その中では3か所が挙げられており、1つはひたち海浜公園で、ゴールデンウィークと秋に激しい渋滞が発生するという事です。同様に、「筑波山も観光地として、道路をどうにかしなければいけない」ということが記述されています。私どもが議論する以前に議論されているプランについても、どこかで整理をしていただき、それらのプランを支援する方策を考察したり、あるいは時代遅れになってしまったので、新たな有効策を議論することでもよいと思えます。いずれにしても、それぞれのプランがもっている視点も、重要な議論の内容になると思えますので、次回以降、事務局に情報収集をお願いしたいと思います。

本日、でてこなかったキーワードとして、私の意見を述べます。筑波大

学にはたくさんの留学生がおりますが、留学生の親御さんたちが自分の子どもがどのようなところで勉強しているのか、年に1回、あるいは在学中に1回、遊びに来られることがあります。これはインバウンドの新たなターゲットであり、大事なマーケットだと思っています。このように、留学生を活用することも、新たな切り口かと思います。
一通りご意見をいただきましたが、言い残されたことがあればお願いいたします。
では、先に進みます。

(3)委員会開催スケジュールについて

委員長：委員会開催スケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。

事務局：委員会開催スケジュールについて説明いたします。

策定委員会開催については、今回と5月、8月、10月、来年2月の5回の開催を予定しています。今回と第2回目の開催の間にアンケートを取りたいと思います。アンケートの結果を第2回目の会議にかけたいと思っています。第3回の会議において基本計画の骨子、提案を作りたいと思っています。第4回目の会議で素案を作成し、第5回目の会議の間にパブリックコメントを行い、策定した評価をみていきたいと思っています。

委員長：ありがとうございます。

(4)アンケート調査について

委員長：(4)アンケート調査について、スケジュール上、次回の会議のことを考えると、アンケートの内容についても、今、ご説明いただきたいと思います。事務局、よろしくをお願いいたします。

事務局：今までの観光計画のアンケートを基に素案を作っています。

素案ができ次第、皆様に送付いたしますので、アンケートに足りない部分など、アイデアをお出しいただければと思っています。

委員長：アンケートの目的と対象を整理していただけますか。

事務局：対象としては、つくば市等に、観光のことで問い合わせをした方、あるいは資料を請求した方に加え、無作為抽出した方、合わせて1,500人程度を考えております。

目的としては、第1次、第2次の観光推進計画で取り組んできたことに対し、つくば観光の認知度が上がったか、もしくは取組が足りなかったか、そのようなことを調べるということです。また、アフターコロナを見据えたつくばの観光で、どのようなことを期待するのか、という設問を設定し、アンケートを実施したいと考えております。

委員長：わかりました。

できれば、アンケートを配るときに、それぞれの結果をどのように反映しようとしているのか、自分たちが考えている政策の素案に対し、どのようなエビデンスを求めているのかが明確にわかるとういと思います。

調査票だけでなく、その調査票の解説書のようなものがあればありがたいと思います。あまり時間の余裕のない中で実施されようとしていますし、予算も少ないと思いますので、失敗のないように議論した上で、実施できるとよいと思います。

委員の皆さん、ご意見等はありませんか。

委員：アンケート結果は委員の皆さんにお配りしますが、第2次基本計画の中に、前回のアンケート結果が入っています。これを見ていただければよいと思いますが、現在はコロナ禍で、コロナ禍でのアンケートというのは、前回のアンケートにくらべて、回答する方のスタンスが変わってしまうと思います。アンケートをとって、その後、基本計画をつくるのですが、アンケートをとる場合は、新型コロナウイルス感染症が収束した段階でのアンケートとするか、または新型コロナウイルス感染症が収束した後に、どのようなことを行えばよいのか、ということを前提としたアンケートとしたほうがよいと思います。いかがでしょうか。

委員長：事務局、いかがですか。

事務局：アンケートについては、委員長とも相談させていただき、委員の皆さまの御意見を反映して、作成したいと考えております。

委員長：ありがとうございます。

他にご意見等はございませんか。

スケジュールに関してのご意見等でも結構です。

委員：たぶん、そのような項目はなかったと思いますが、できれば、観光地を選ぶときに、つくば市の他に、どのような地域が候補に挙がっているのかを知りたいと思います。そのようなことがわかる項目があるとよいと思いました。

また、つくば市に限らず、観光地を選ぶときにどのようなところを見て選んでいるのか、実際にその観光地に行くことになったきっかけがわかると参考になると思いました。そのような項目に関しては、他の会社でも調査していますので、そちらで補う予定をされているのかもしれませんが、余裕があれば、そのようなことも聞いていただけると、つくば市のこのようなところも、観光客には魅力になるという発見につながると思います。ご検討、よろしくお願いいたします。

委員長：ありがとうございます。

事務局：ありがとうございます。事務局としても、委員の皆さまの御意見を頂戴し、的確なアンケートをつくっていきたいと考えております。

委員長：資金が許せば、5月や11月に、来られた方に直接お聞きするというのも、1つの方法だと思います。来年2月には終わらせなければいけませんので、11月の調査を反映できるのかと問えば、難しいかもしれません。話題になっている筑波山の渋滞も、たぶん1年中起こっているわけではないと思います。そのピークの期間にどのようにするのか、ということになると思います。普通は、ピークの期間には頭打ちにするために、料

金を取るとか、事前予約制にするというようなことを、世界中の観光地で実施しています。そうではなく、キャパシティをめざして、他の季節にも来ていただけるようにしておくことができればよいと思います。そのような取り組みをすることが、望まれているのかどうかも含め、実際に来られた方にお聞きするアンケートができればよいと思います。このようなことも、会議の中で議論したいと思います。

委員：お話を聞いて思い出しましたが、先ほどの「内側からの観光客を増やす」という私の考えですが、つくば市内の方はどのようなところに観光に行っているのかというデータがあれば、大変参考になると思いました。

委員長：つくば市内だと観光という感覚で行っているのかもしれませんが、土日の過ごし方の1つになっているのかもしれませんが。
他にご意見等はございませんか。

委員：アンケートに関してですが、私は全国で万葉集に詠われているところを、40年以上かけて歩いてまいりました。その中で奈良市、明日香村という観光地は、観光で食べているところですが、県外からのアンケートを受けたことがあります。そのアンケートの内容は、やはりアクセスやどのようなところに魅力を感じるのか、多くの選択肢があり、丸をつけていく形でした。

外からの誘致が一番大事だとするきっかけを考えると、アンケート調査は大事だと思います。市内だけでなく、県外からも大勢来られていると思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長：本日はご欠席ですが、青木委員に依頼して、来訪者で宿泊されている方にお聞きすることも、1つの方法だと思います。ご指摘がありましたように、有名な観光地では、きちんとデータを取り、整理して、自己分析をしています。自己評価をきちんと行い、次につなげているまちが数多くあります。そのようなことも、計画の中に書いていく必要があるのかもしれませんが。

他にご意見等はございませんか。
では、先に進みます。

(5)その他

委員長：(5)その他として、事務局から何かあればお願いいたします。

事務局：次回、第2回については5月頃の開催を予定しています。

今回資料の送付が遅れてまいりましたこと、お詫び申し上げます。次回以降はこのようなことがないようにいたします。

委員長：ありがとうございます。

茨城県の非常事態宣言は解除されましたが、5月には一堂に会しての会議が開催できるとありがたいと思っています。その方向で、開催をご検討ください。リモートだと伝わりにくい部分もあるかと思っています。

慣れない司会でしたが、皆さまから活発なご意見をいただきました。次

回の会議も楽しみにさせていただきます。

司会の任を解かせていただき、進行を事務局にお返しいたします。ご協力をいただき、ありがとうございました。

事務局：委員長、議事進行をお務めいただき、ありがとうございました。委員の皆さまには、長時間に亘り会議にご参加いただき、ありがとうございました。

閉会（15:30 終了）

第3次つくば市観光基本計画策定委員会 第1回会議

日 時 令和3年2月26日（金）13:30 から
場 所 市役所2階 研修室

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 委 員 紹 介
- 4 事務局紹介
- 5 委員長選任
- 6 委員長挨拶
- 7 議 事
 - 1) 第2次つくば市観光基本計画の検証
 - 2) 策定に向けた意見交換
 - 3) 委員会開催スケジュール
 - 4) アンケート調査
 - 5) その他
- 8 閉 会

【添付資料】

- ・（添付資料1）第3次つくば市観光基本計画策定委員名簿
- ・（添付資料2）第3次つくば市観光基本計画策定委員会設置要項
- ・（議事資料1）第2次つくば市観光基本計画検証用データ集
- ・（議事資料2）ロードマップ進捗状況
- ・（議事資料3）観光客入込客数修正目標値及び実績値
- ・（議事資料4）第3次つくば市観光基本計画策定スケジュール

(添付資料1)

第3次つくば市観光基本計画策定委員名簿

	所属機関・団体	氏 名	ふりがな	役 職 等	有 識 別
1	国立大学法人 筑波大学	岡本 直久	おかもと なおひさ	システム情報系教授	観光政策等学術的知見
2	国立大学法人 筑波技術大学	生田目 美紀	なまため みき	産業技術学部産業情報課教授	観光政策等学術的知見
3	株式会社近畿日本ツーリスト関東 つくば支店	松本 圭司	まつもと けいじ	支店長	誘客プラン、観光パッケージの造成
4	株式会社JTB 茨城南支店	遠田 勇人	えんた はやと	営業課長	誘客プラン、観光パッケージの造成
5	関東鉄道株式会社	武藤 成一	むとう せいいち	常務取締役	交通インフラとの連携
6	首都圏新都市鉄道株式会社	東 英俊	あずま ひでとし	運輸部次長	交通インフラとの連携
7	筑波観光鉄道株式会社	澁谷 賢一	しぶや けんいち	代表取締役社長	交通インフラとの連携
8	茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合 つくば支部	青木 研一	あおき けんいち	組合員(株) 青木屋代表取締役	観光・スポーツツーリズムの推進
9	一般財団法人茨城県科学技術振興財団 つくばサイエンスツアー推進課	米本 高廣	よねもと たかひろ	課長	科学をいかした観光プログラムの造成
10	一般財団法人つくば市国際交流協会	布浦 万代	ふうら まよ	理事長	在住外国人との交流
11	つくば観光ボランティアガイド298	吉原 一行	よしはら かずゆき	会長	観光ガイドの育成、観光ニーズの知見
12	つくば市商工会	松信 利彦	まつのぶ としひこ	事務局長	物産品開発による観光誘客
13	一般社団法人つくば観光コンベンション協会	星野 弘	ほしの ひろし	事務局長	観光誘致、コンベンション事業
14	市民委員	浅井 知枝	あさい ともえ		
15	市民委員	河内 洋行	こうち ひろゆき		
16	市民委員	橘 敦子	たちばな あつこ		
17	市民委員	田中 依子	たなか よりこ		
18	市民委員	松本 茂	まつもと しげる		

第 3 次つくば市観光基本計画策定委員会設置要項

(設置)

第 1 条 第 3 次つくば市観光基本計画（以下「基本計画」という。）の策定に当たり、学識経験者、関係機関・関係事業者、市民等の意見を反映するため、第 3 次つくば市観光基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 基本計画の策定に関すること。
- (2) その他基本計画の策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会の委員は、別紙に掲げる機関・団体の代表者等をもって組織する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱の日から基本計画の策定が終了する日までとする。ただし、委員が欠けた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第 5 条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により定め、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(アドバイザー)

第 6 条 委員会にアドバイザーを置くことができる。

- 2 アドバイザーは、委員会の承認を得て、委員長が選任する。
- 3 アドバイザーは、基本計画策定にあたり重要な事項について委員長の諮問に応じ、委員会に出席して意見を述べることができる。

(会議)

第7条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(映像等の送受信による通話方式による会議)

第8条 委員長は、委員の全部又は一部について、会議を開催する場所に参加することが困難であると認めるときは、委員同士が映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法（以下「映像等の送受信による通話の方法」という。）により、会議を開催することができる。ただし、つくば市附属機関の会議及び懇談会の公開に関する条例（平成29年つくば市条例第35号）第4条の規定により、会議の全部又は一部を非公開とする場合はこの限りでない。

2 委員長は、映像等の送受信による通話の方法により会議を開催する場合には、会議を開催する場所に参加する委員を除き、当該会議に参加する場所として相当と認める場所を、委員ごとに指定するものとする。

3 委員が映像等の送受信による通話の方法により会議に参加したときは、当該委員は、会議へ出席したものとみなす。

4 映像等の送受信による通話の方法による会議の参加に伴い生じる通信費その他の費用は、各委員の負担とする。

(意見の聴取)

第9条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させその意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、経済部観光推進課において処理する。

(その他)

第11条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長

が委員会に諮って定める。

附則

この要項は、令和３年２月１２日から施行する。

1) 第2次つくば市観光基本計画の検証

①データによる検証結果（別紙議事資料1）

- ・ つくば市の観光客総入込数、筑波山観光客入込客数ともに、平成28年から令和元年までは、順調に右肩上がり伸びている。
（なお、観光客入込数の推移については、四半期ごとに県で指定した日を目安に調査したものとなっております。）
- ・ 令和元年の筑波山市営駐車場利用台数については、前年比約10%減となっているが、夏休み期間中や秋の行楽シーズン中に雨が続いた影響が大きい。
- ・ 令和元年の筑波山きっぷについては、前年比約15%減、筑波山シャトルバス乗車実績は約20%減となっているが、夏休み期間中や秋の行楽シーズン中に雨が続いた影響が大きい。
- ・ フォレストアドベンチャーつくばの利用人数については、平成29年をピークに減少している。平成30年は夏に記録的な猛暑が続いたこと、令和元年度は夏の猛暑と秋の台風の影響が大きい。
- ・ 令和元年のスポーツ合宿誘致推進事業の利用者数は、前年比約13%減となっているが、夏休み期間中や秋の行楽シーズン中に雨が続いた影響が大きい。
- ・ サイエンスツアーについては、受け入れ人数（参加人数）は緩やかな減となっている。夏休み期間中の天候不良、台湾から茨城空港へのチャーター便の廃止により団体利用者減などが影響している。ただし、サイエンスツアーバスの利用人数は、令和元年まで伸びている。
- ・ 令和2年については、観光客総入込数をはじめ、あらゆる面で新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減となった。
- ・ 令和2年の観光客総入込数は前年比約36%の減なのに対し、筑波山観光客入込客数は前年比約23%減となっている。筑波山観光については、オープンエアであり、コロナ禍の中でも影響が少ない。
- ・ 令和2年の筑波山市営駐車場の利用数は、前年比約17%減、筑波山シャトル乗車実績は前年比約33%減であることから、コロナ禍では自家用車の利用が多い。

②事業実施ロードマップの進捗状況（別紙議事資料 2）

③観光入込客数目標と実績（別紙議事資料 3）

令和元年に中間検証を実施した結果、第 2 次つくば市観光基本計画の最終年度目標としていた 400 万人を達成したため、新規の目標を 430 万人と設定した。

④検証結果からの考察

新型コロナウイルス感染症の観光への影響は著しいことから、第 3 次観光基本計画策定については、コロナ禍での観光についても考慮するとともに、新型コロナウイルス感染症の終息後も見据えた計画としていく必要がある。

2) 策定に向けた意見交換

3)委員会開催スケジュール

策定委員会の開催については、2月、5月、8月、10月、来年2月の計5回の会議を予定しております。会議の内容は以下のとおりです。

第1回策定委員会

- 1) 第2次つくば市観光基本計画の検証
- 2) 策定に向けた意見交換
- 3) 第3次つくば市観光基本計画策定スケジュール
- 4) アンケート調査について

第2回策定委員会

- ・アンケート結果の考察
- ・第3次つくば市観光基本計画骨子案（原案）検討

第3回策定委員会

- ・第3次つくば市観光基本計画素案検討

第4回策定委員会

- ・第3次つくば市観光基本計画素案決定

第5回策定委員会

- ・第3次つくば市観光基本計画最終案決定

4)アンケート調査について

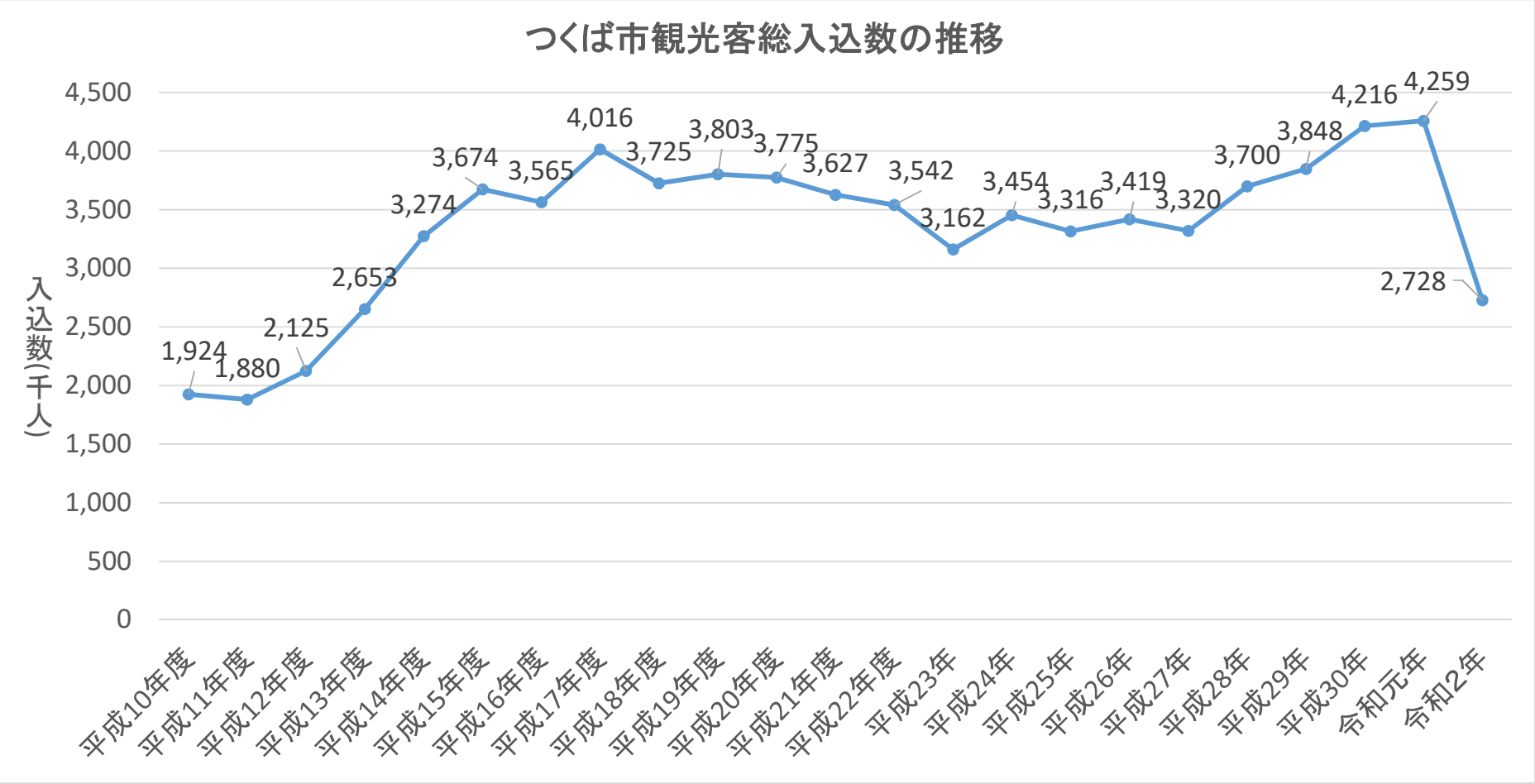
第2次つくば市観光基本計画 検証用データ集

目次

ページ数

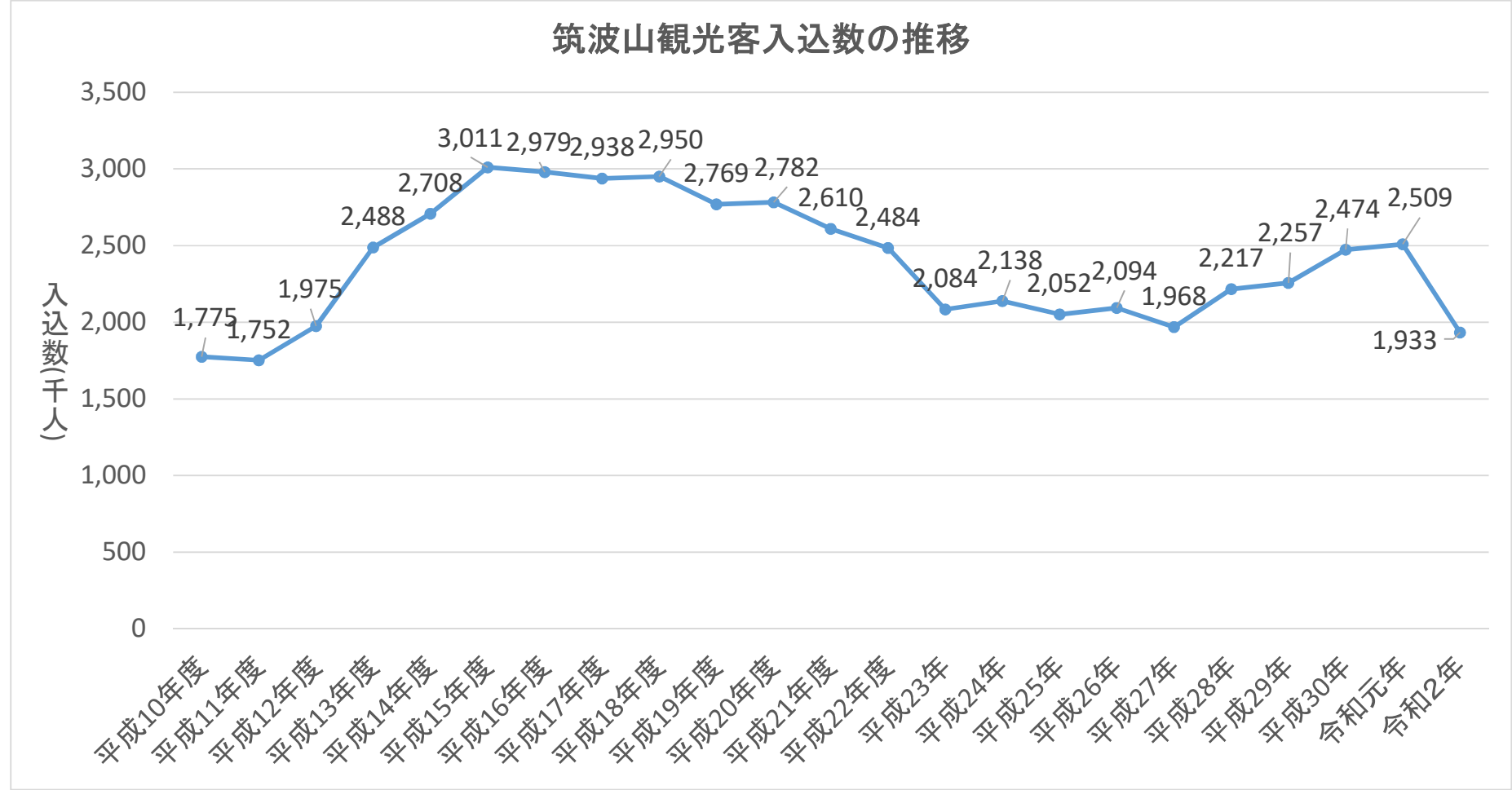
○観光客入込数.....	1
○筑波山市営駐車場利用台数.....	3
○筑波山きっぷ(筑波山あるきっぷ)販売数.....	4
○筑波山シャトル乗車実績.....	5
○フォレストアドベンチャーつくば利用人数.....	6
○スポーツ合宿誘致推進事業利用者数.....	7
○レンタサイクル利用台数.....	8
○サイエンスツアー(受入数、バス利用者数).....	9
○MICE(学術会議開催件数、参加人数).....	11

観光客入込数①



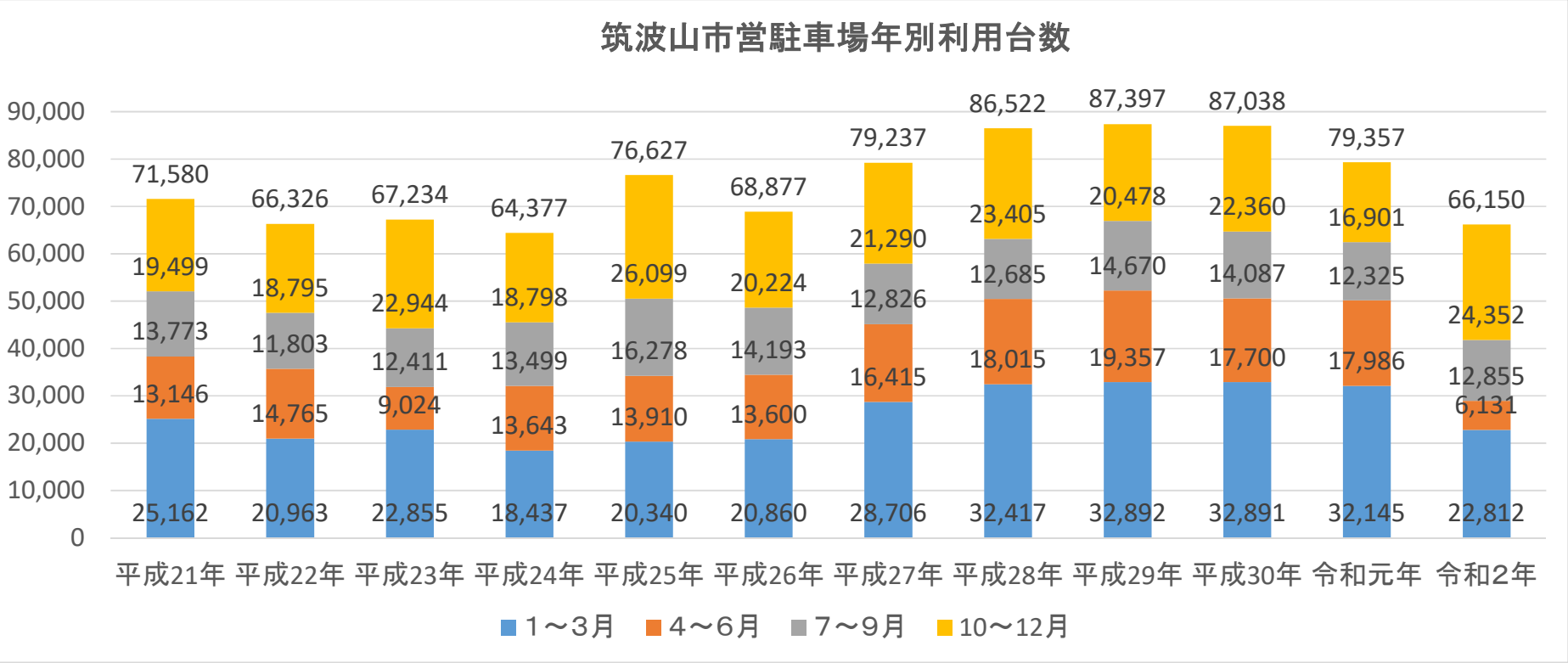
	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
総入込数	1,924	1,880	2,125	2,653	3,274	3,674	3,565	4,016	3,725	3,803	3,775
	平成21年度	平成22年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
総入込数	3,627	3,542	3,162	3,454	3,316	3,419	3,320	3,700	3,848	4,216	4,259
	令和2年										
総入込数	2,728										

観光客入込数②



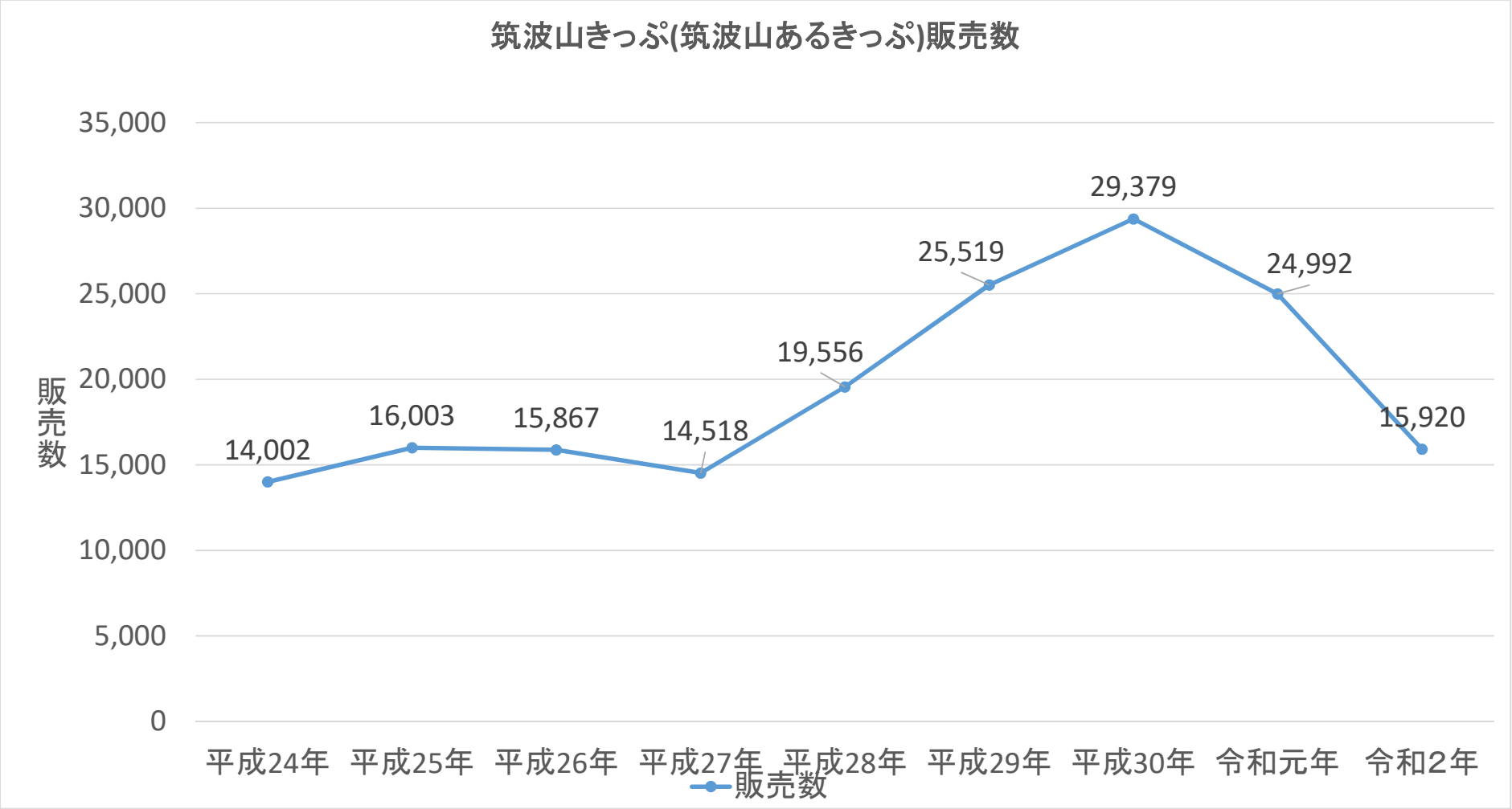
	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
筑波山入込数	1,775	1,752	1,975	2,488	2,708	3,011	2,979	2,938	2,950	2,769	2,782
	平成21年度	平成22年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
筑波山入込数	2,610	2,484	2,084	2,138	2,052	2,094	1,968	2,217	2,257	2,474	2,509
	令和2年										
総入込数	1,933										

筑波山市営駐車場



	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1～3月	25,162	20,963	22,855	18,437	20,340	20,860	28,706	32,417	32,892	32,891	32,145	22,812
4～6月	13,146	14,765	9,024	13,643	13,910	13,600	16,415	18,015	19,357	17,700	17,986	6,131
7～9月	13,773	11,803	12,411	13,499	16,278	14,193	12,826	12,685	14,670	14,087	12,325	12,855
10～12月	19,499	18,795	22,944	18,798	26,099	20,224	21,290	23,405	20,478	22,360	16,901	24,352
合計	71,580	66,326	67,234	64,377	76,627	68,877	79,237	86,522	87,397	87,038	79,357	66,150

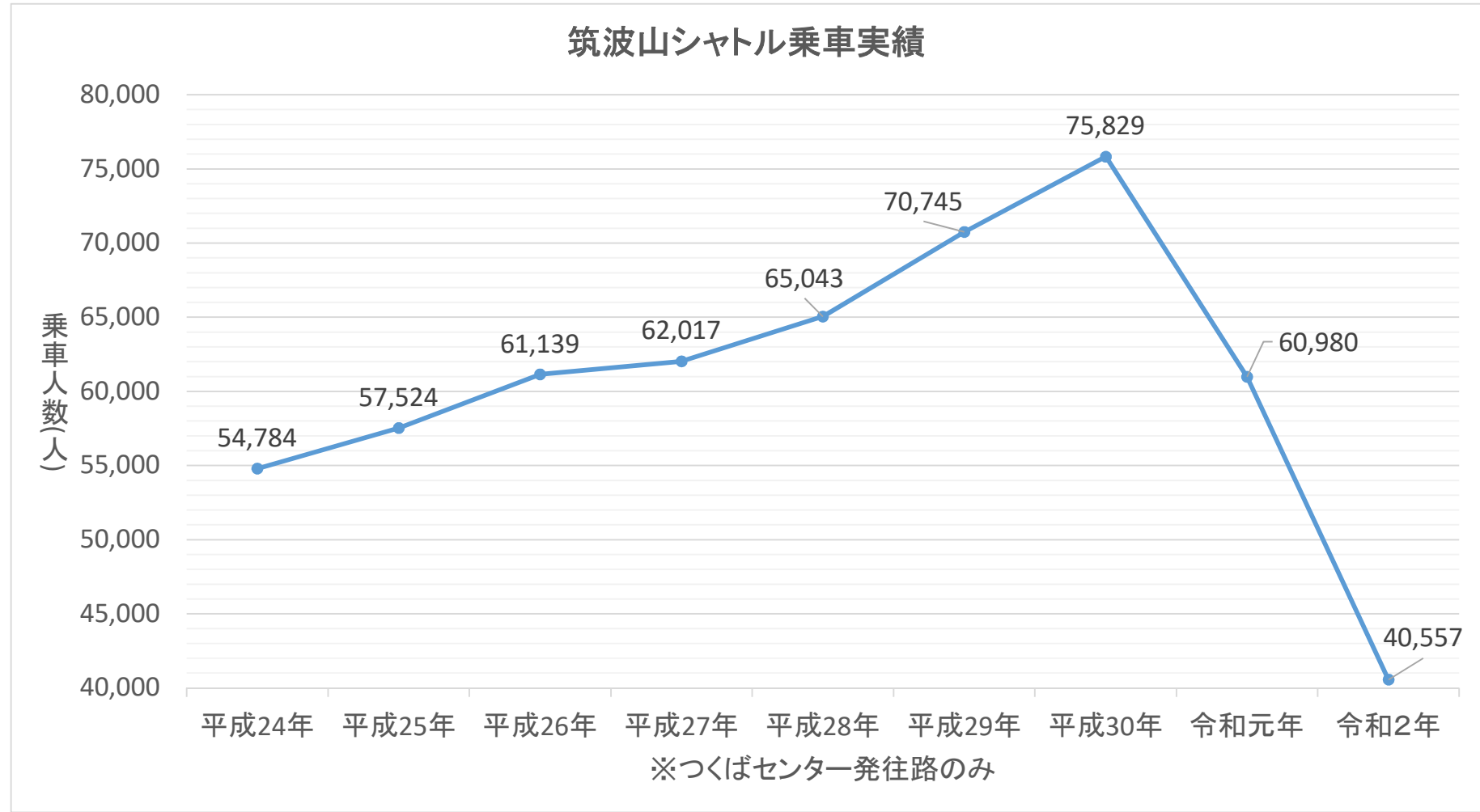
筑波山きっぷ



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
販売数	14,002	16,003	15,867	14,518	19,556	25,519	29,379	24,992	15,920

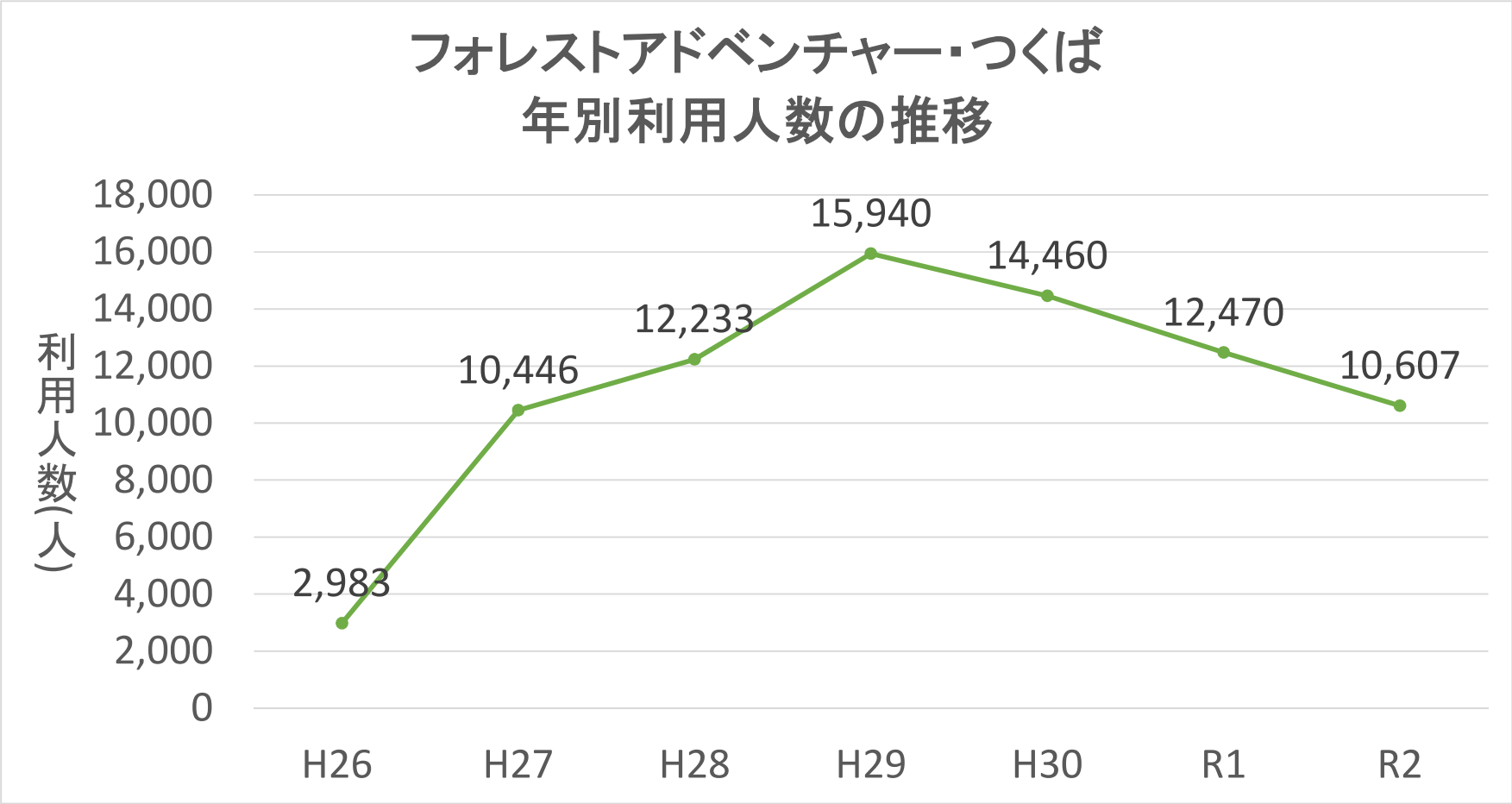
※平成28年より、筑波山あるキップの販売実績を含む。

筑波山シャトル



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
乗車実績	54,784	57,524	61,139	62,017	65,043	70,745	75,829	60,980	40,557

森林体験パーク(フォレストアドベンチャー・つくば)②

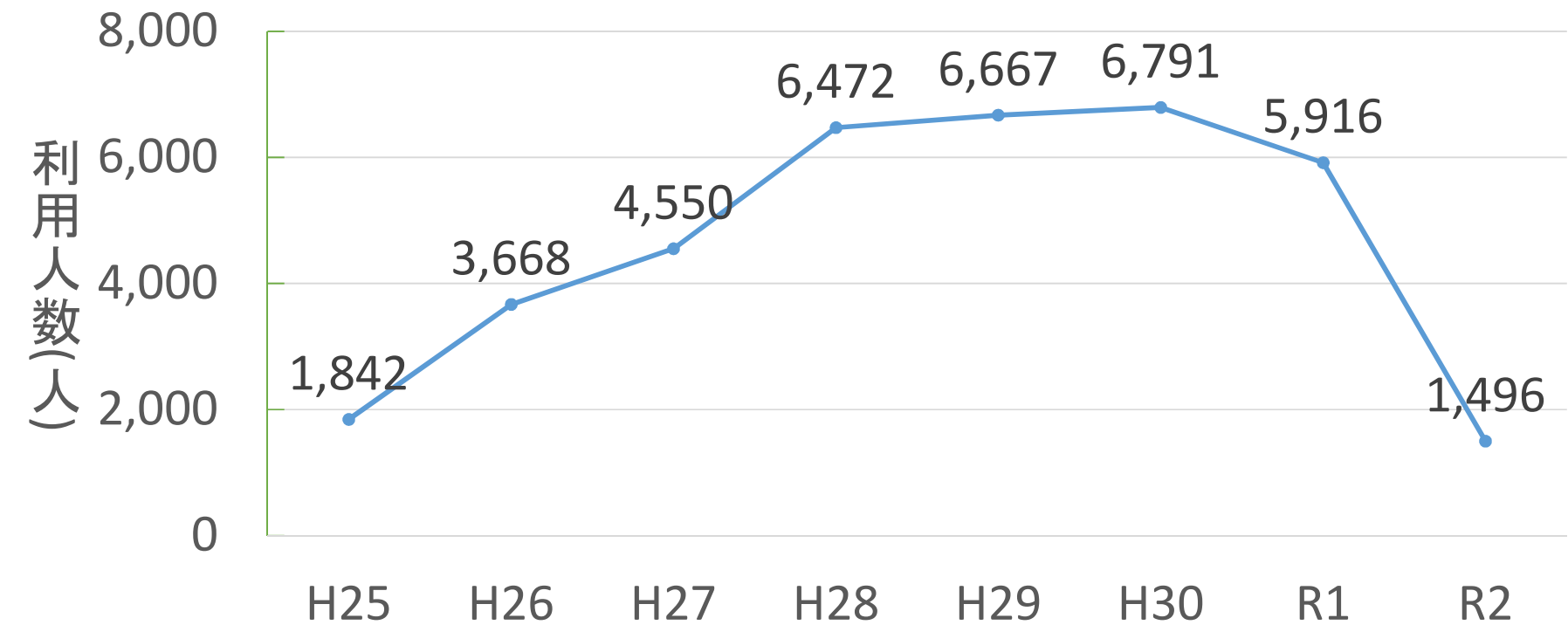


年別利用人数推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
合計	2,983	10,446	12,233	15,940	14,460	12,470	10,607

スポーツ合宿誘致推進事業①

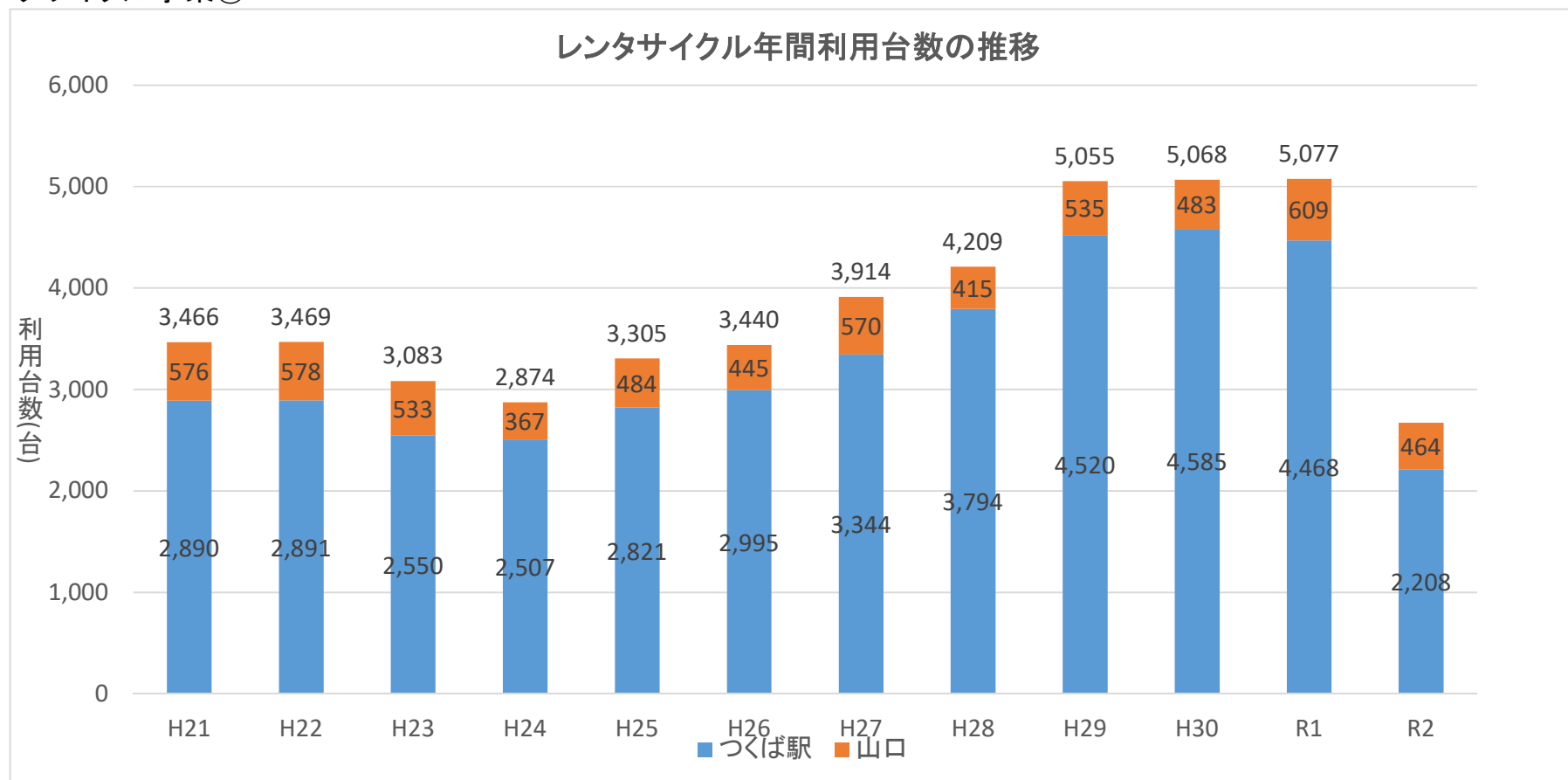
スポーツ合宿誘致推進事業年別利用者推移



年別利用者の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実数	1,842	3,668	4,550	6,472	6,667	6,791	5,916	1,496

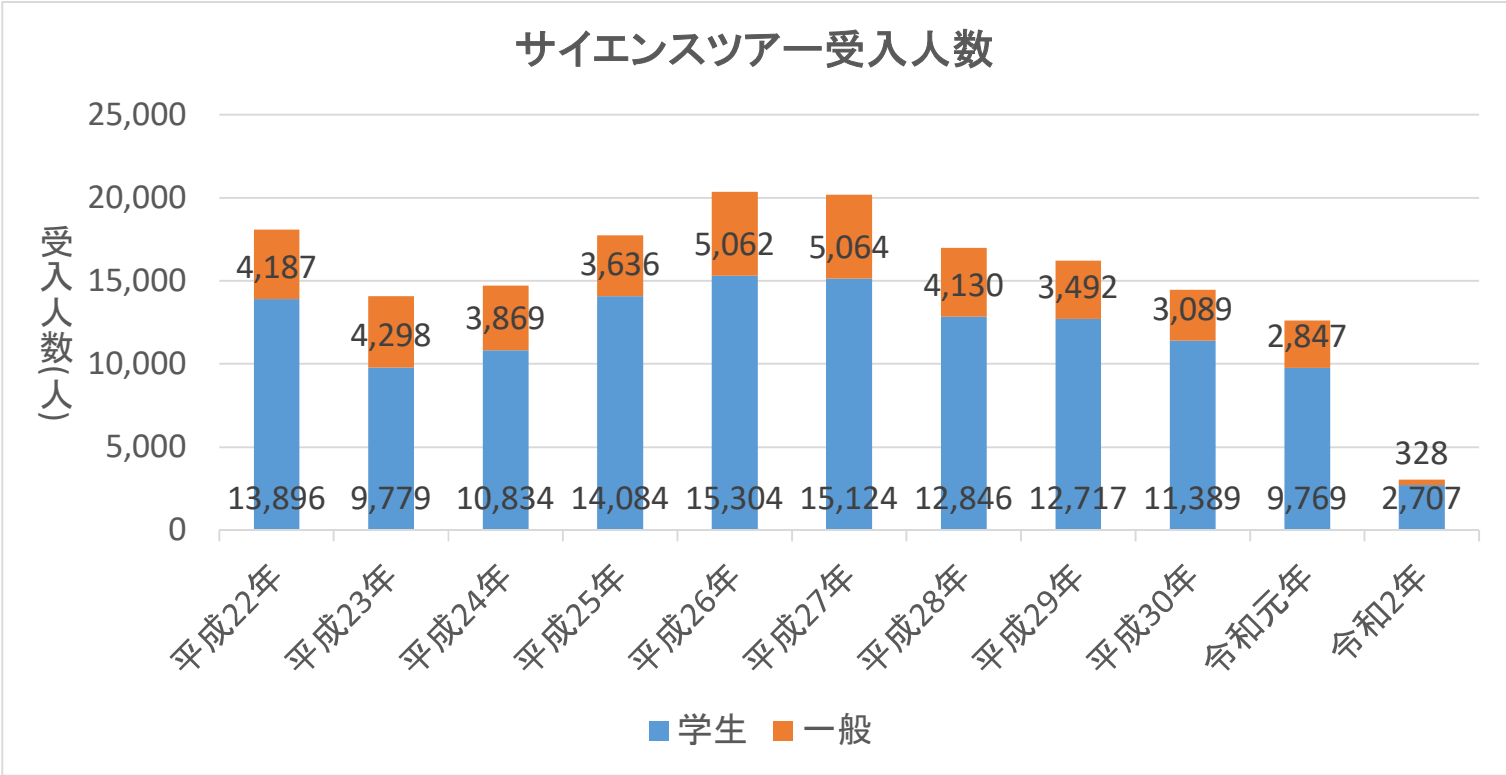
レンタサイクル事業①



年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
つくば駅	2,890	2,891	2,550	2,507	2,821	2,995	3,344	3,794	4,520	4,585	4,468	2,208
山口	576	578	533	367	484	445	570	415	535	483	609	464
総計	3,466	3,469	3,083	2,874	3,305	3,440	3,914	4,209	5,055	5,068	5,077	2,672

※筑波山口では平成29年度(2018年度)まで1～3月および12月は貸し出し休止

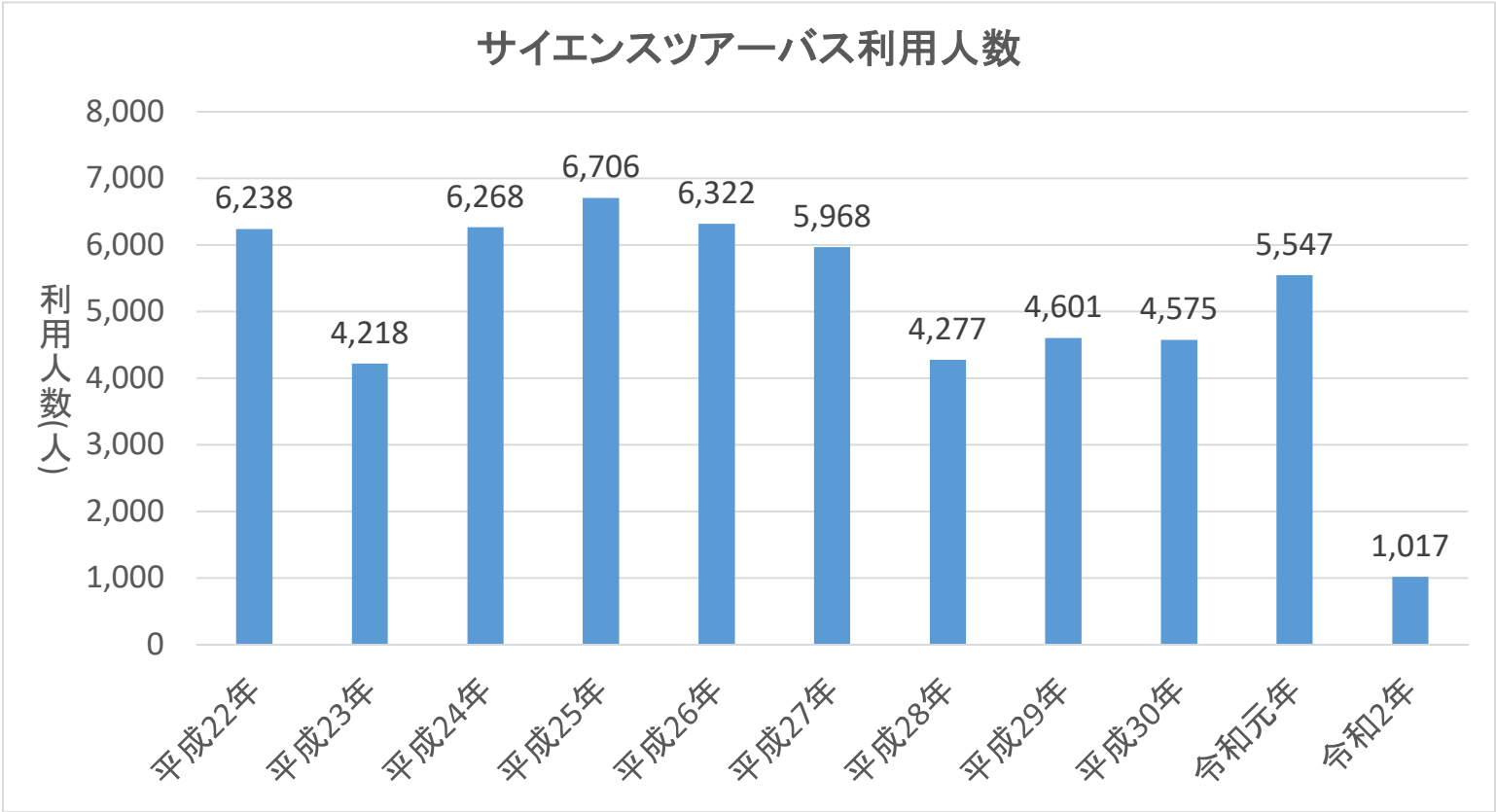
サイエンスツアー①



サイエンスツアー受け入れ人数

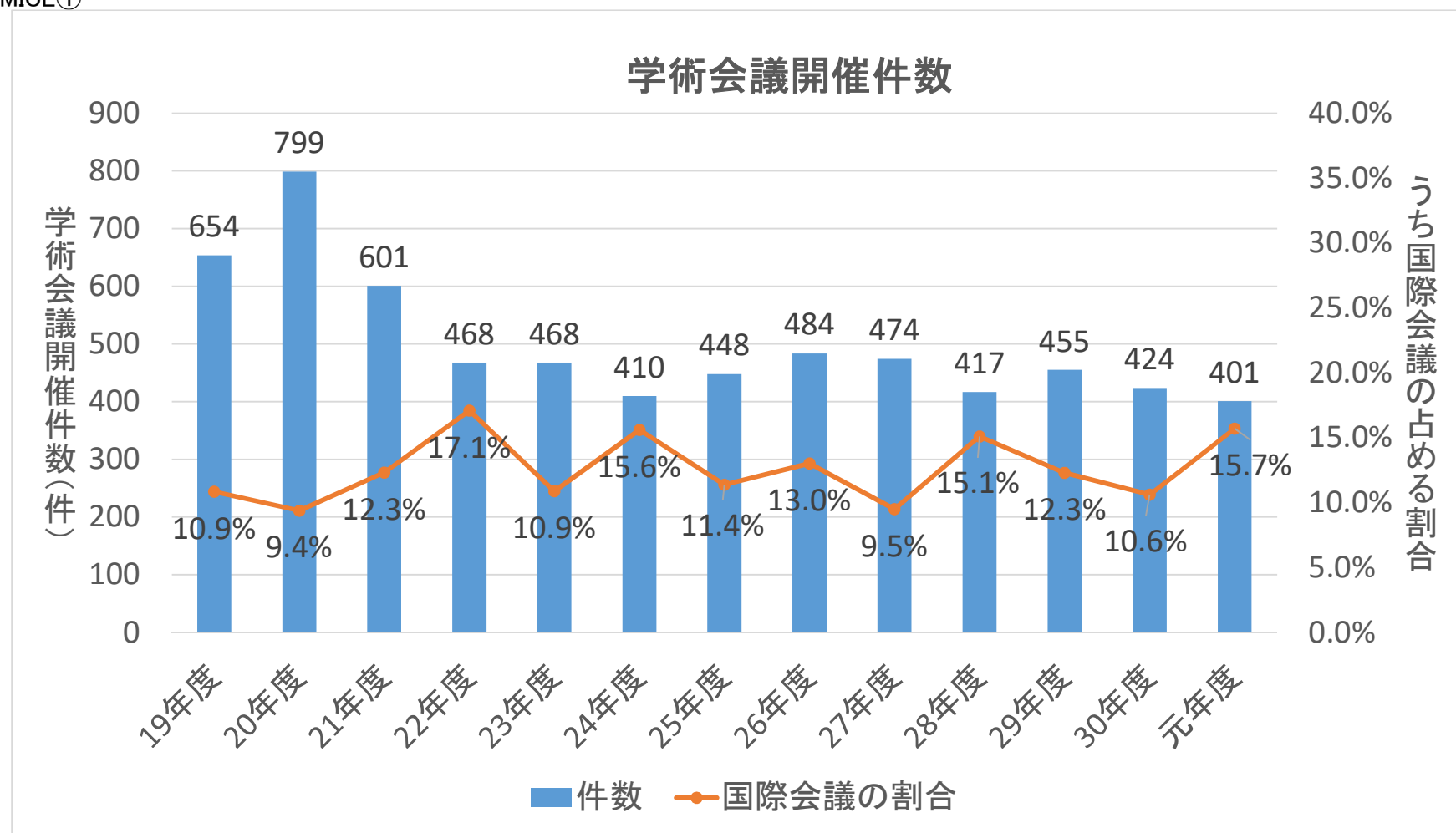
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
学生	13,896	9,779	10,834	14,084	15,304	15,124	12,846	12,717	11,389	9,769	2,707
一般	4,187	4,298	3,869	3,636	5,062	5,064	4,130	3,492	3,089	2,847	328
合計	18,083	14,077	14,703	17,720	20,366	20,188	16,976	16,209	14,478	12,616	3,035

サイエンスツアー②



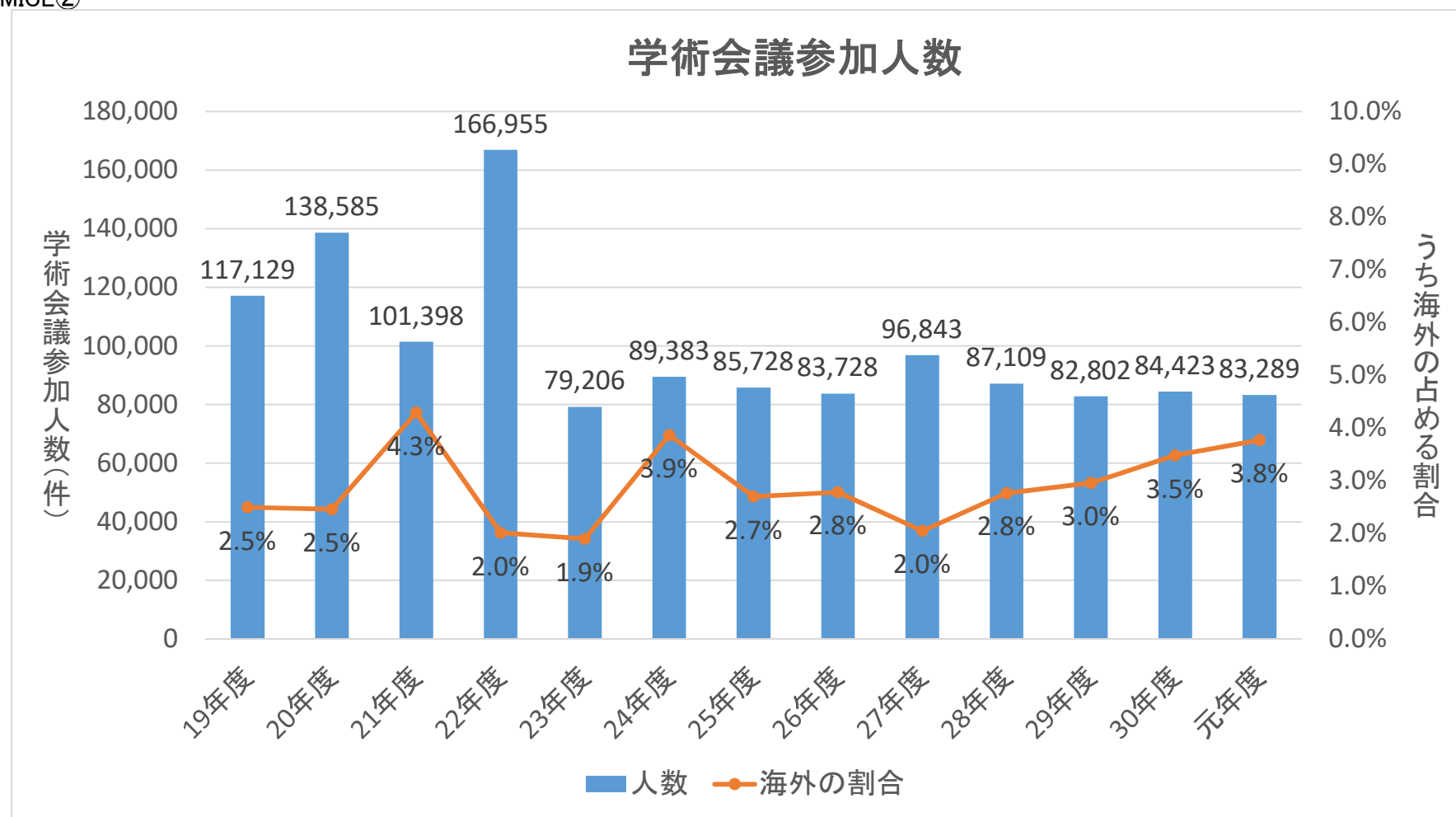
サイエンスツアーバス利用人数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
利用人数	6,238	4,218	6,268	6,706	6,322	5,968	4,277	4,601	4,575	5,547	1,017



学術会議開催件数

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
件数	654	799	601	468	468	410	448	484	474	417	455	424	401
うち国際会議数	71	75	74	80	51	64	51	63	45	63	56	45	63
国際会議の割合	10.9%	9.4%	12.3%	17.1%	10.9%	15.6%	11.4%	13.0%	9.5%	15.1%	12.3%	10.6%	15.7%



学術会議参加人数

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
人数	117,129	138,585	101,398	166,955	79,206	89,383	85,728	83,728	96,843	87,109	82,802	84,423	83,289
うち海外	2,924	3,407	4,352	3,357	1,504	3,454	2,315	2,327	1,984	2,407	2,447	2,937	3,139
海外の割合	2.5%	2.5%	4.3%	2.0%	1.9%	3.9%	2.7%	2.8%	2.0%	2.8%	3.0%	3.5%	3.8%

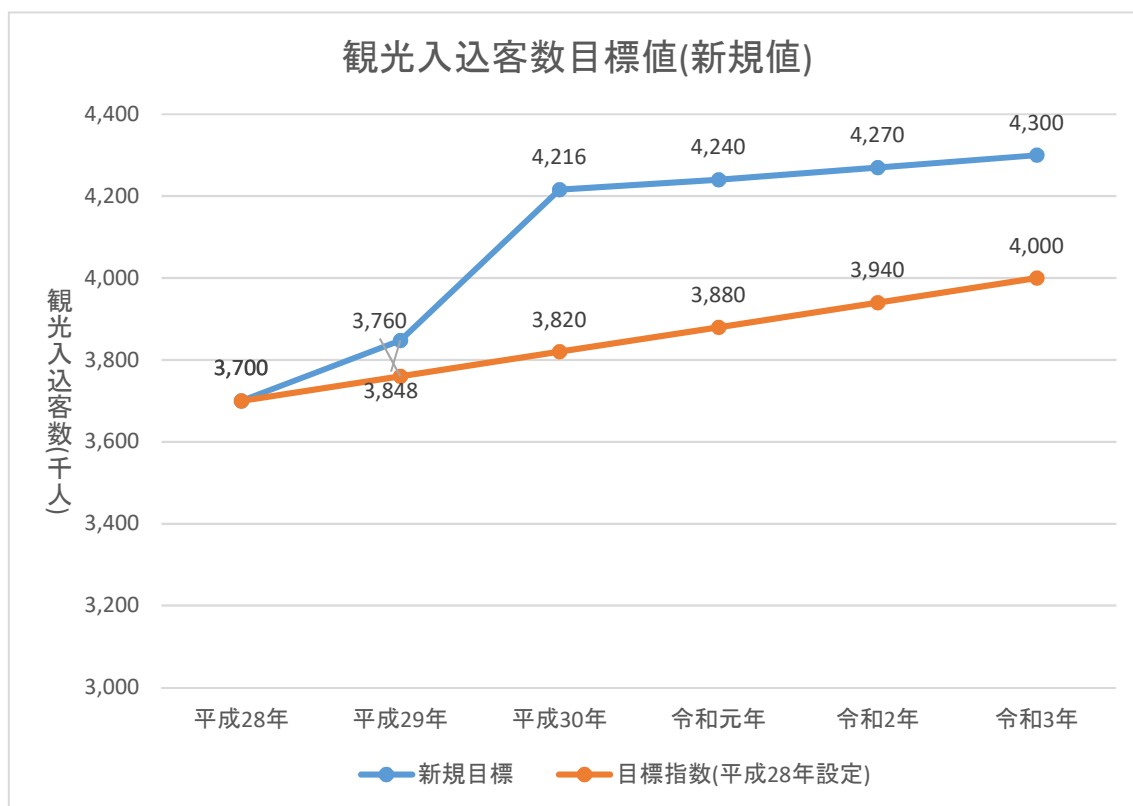
第2次つくば市観光基本計画における事業実施ロードマップ進捗状況

(議事資料2)

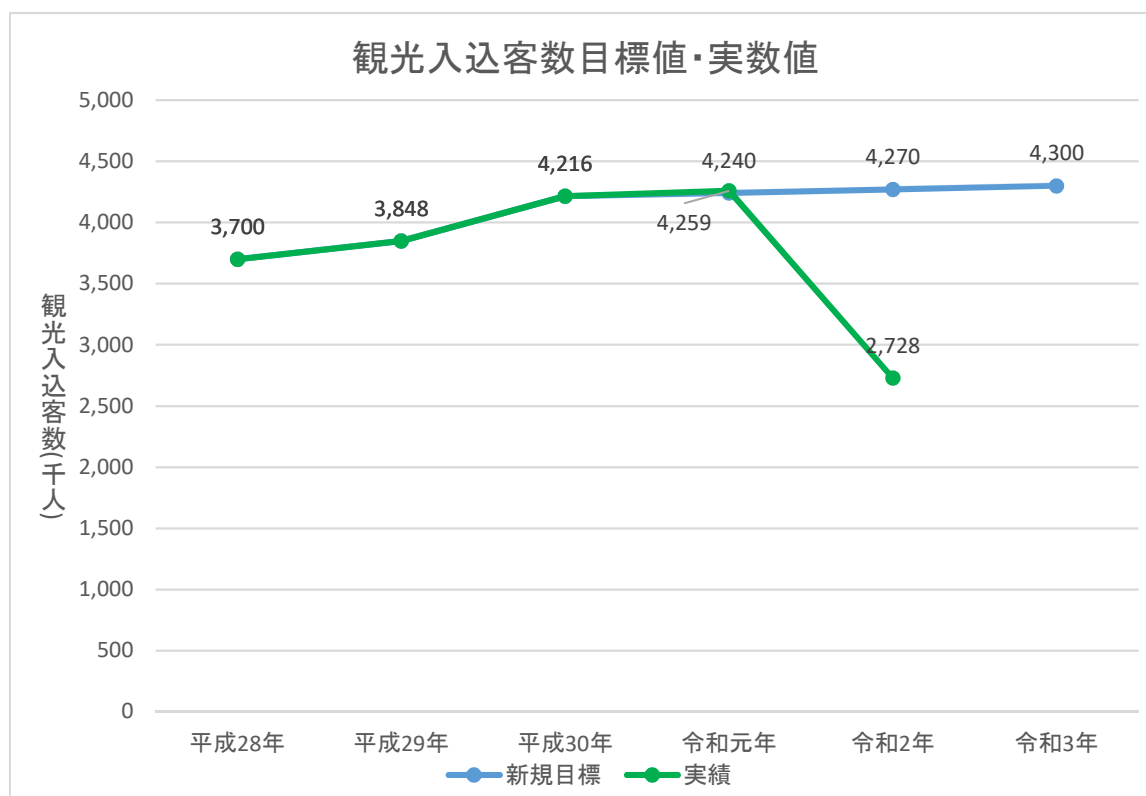
基本方針	主要政策	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	おもてなし研修の実施					
	・観光ボランティアガイドのスキルアップ事業として研修会を開催 ・観光ボランティア養成講座を開催	研修会 6回 延べ140名参加 養成講座 5回 延べ24名参加	研修会 3回 延べ84名参加 養成講座 5回 11名参加	研修会 7回 延べ224名参加 養成講座 5回 20名参加	研修会 5回 延べ222名参加 要請講座 5回 9名参加	研修会、要請講座実施予定
	市の観光施設の整備					
	すべての人に安全で安心な観光地を目指し、施設を整備する。	・筑波山梅林見返り縁台整備工事 ・つつじヶ丘駐車場満空表示設置工事 ・筑波山観光ライブカメラ(5基)整備工事ほか	・筑波山梅林四阿屋根改修及び菱露台整備工事 ・筑波山頂公衆トイレ受水槽設置工事 ・つくば市アウトドアフィールド観光資源活用調査委託ほか	・筑波山観光案内所改築設計業務委託 ・森林体験パークコース改修増設工事 ・筑波ふれあいの里アウトドアフィールド基本構想策定業務委託ほか	・筑波山観光案内所新築工事 ・筑波ふれあいの里アウトドアフィールド基本構想策定業務委託	・筑波山観光案内所新築工事 ・筑波ふれあいの里キャンプ場測量設計業務
	筑波山の渋滞対策の実施					
春と秋の行楽シーズンの土日祝日に渋滞情報の発信、警備員の配置、迂回誘導を実施のほか風返し峠臨時駐車場からつつじヶ丘までバスによるピストン輸送(パーク&パスライド)を実施		迂回路誘導看板設置、渋滞・駐車場情報の発信、警備員の配置のほか、パーク&パスライドを実施(春3日間、秋3日間)	迂回誘導看板設置、渋滞・駐車場情報の発信、警備員の配置、パーク&パスライド(春3日間、秋3日間)、守谷SAでの渋滞情報発信(秋1日間)を実施	迂回誘導看板設置、渋滞・駐車場情報の発信、警備員の配置のほかパーク&パスライド(春3日間、秋1日)、守谷SAでの渋滞情報通知(春1日間)、沼田臨時案内所(秋1日間)	迂回誘導看板設置、渋滞・駐車場情報の発信、警備員の配置のほかパーク&ライド(秋2日間)、登山道調査(秋2日間)を実施	渋滞対策実施予定
2	観光情報アプリの導入					
	訪日外国人向けの情報発信については、アプリよりもWebサイトの方が有効であるとの検討結果から、Web上の訪日メディア、MATCHAと契約		訪日外国人向けの観光情報サイトMATCHAにつくば市の観光情報を掲載(英語、繁体字、簡体字、タイ語)	更新	更新	更新予定
	スポーツ合宿の誘致促進					
商工会とホテル旅館生活衛生同業組合つくば支部と連携を図り、学生団体等を対象にスポーツ合宿のさらなる誘致を実施		延べ6,667名利用	延べ6,791名利用	新たに筑波地区の廃校体育館の使用と優先予約を可能とした。	新たに旧筑波第一小学校体育館の貸出をした。	スポーツ合宿誘致予定
3	無料Wi-Fi環境の整備					
	訪日外国人旅行者へのおもてなし体制づくりとして、筑波山観光案内所、筑波山おもてなし館、Biviつくば観光案内所にFREE-Wi-Fiを設置		筑波山観光案内所、筑波山おもてなし館、Biviつくば観光案内所にFREE-Wi-Fiを設置 筑波ふれあいの里、ゆかりの森設置	六斗の森設置	筑波山梅林設置	
	インバウンド商談会への参加					
	インバウンド展示会や茨城県インバウンド部会へ参加し、訪日外国人観光客の誘客を図る。	・インバウンド商談会へ参加(12回) ・ファムツアーへの実施協力(8回) ・茨城県インバウンド部会へ参加	・インバウンド商談会へ参加(7回) ・ファムツアーへの実施協力(20回) ・茨城県インバウンド部会へ参加(6回)	・インバウンド商談会へ参加(9月末現在3回) ・ファムツアーへの実施協力(9月末現在1回) ・茨城県インバウンド部会へ参加(10月末現在3回)	実績なし(コロナ禍により)	茨城県インバウンド部会へ参加予定
4	ジオツアーの活用					
	筑波山地域ジオパークの魅力を積極的に発信するとともに、ガイド付きツアーを実施	ジオツアー54回開催	ジオツアー13回 地質標本館内ジオツアー24回	ジオツアー4回 その他、地質標本館内ジオツアーを月2回実施(参加者がいない場合中止)	筑波山地域ジオパーク再認定 ジオツアー5回	ジオツアー開催予定
	ジオ関連商品の開発(認定商品含む)					
		・ジオコロッケ ・ジオ弁当	筑波山ジオパーク認定商品13品(みよこの七味、元祖つくば餃子、筑波山ジオショコラテリーヌほか)	筑波山地域ジオパーク認定商品9品認定(筑波山麓果実小梅のフルーツソース、つくば道弁当ほか)	筑波山地域ジオパーク再認定 筑波山地域ジオパーク認定商品9品認定(福来陳皮、米糍味噌、七色いなりと七味飴ほか) ※2品目認定取り下げ	筑波山地域ジオパーク認定商品認定予定
			当初予定			
			実績			

観光入込客数修正目標値及び実績値

中間検証(2019)における修正後



修正後の実績値



第2次つくば市観光基本計画中間検証会議

開催日 令和

第3次つくば市観光基本計画策定スケジュール

[illegible]